

やまびこ 特別号 350 号



リードン

©Tsuchida Yoshiharu



ヨンデル



ときめきをあなたに。もちろんわたしにも!

春になりました。雪に閉ざされたどちらかといえばモノクロの世界から、色鮮やかな世界に変化していきます。明るく暖かな日差しと溢れ出る色の洪水。それだけでも、ドキドキわくわくうきうきルンルン胸躍るときめきの季節です。

広辞苑第七版(岩波書店 2018)では、ときめきとは「喜びや心配などの強い感情のために、胸がどきどきすること。」と説明されています。心配などの負の感情もときめきだったとは驚きですが、本稿では喜びのときめきに焦点を当てましょう。SNSで見た可愛いスイーツや電車走行中の音、動物の赤ちゃん、久しぶりの旅行、アイドル・俳優などの芸能人やアニメ・マンガのキャラクタ、好きな作家の最新刊、モフモフのもの、ご近所のまだ通ったことのない路地の冒険などなど。何にときめくかは人それぞれですが、喜びと嬉しさでドキドキしてわくわくして、その気持ちが表情にも表れてニコニコ顔で過ごせる。これって最高に幸せなことではないでしょうか。

今までとはがらっと環境が変わった方、全然変わらない方、それぞれいらっしゃるでしょう。環境が変わって不安な気持ちを持っている方も、何かときめくものをもって、または新たに発見して、春の日差しのように暖かな気持ちで毎日を過ごせたらいいですね。



＝図書館にある「ときめき」関連本＝

- ・『ときめきのミュージアムグッズ』大澤夏美 (2022) ・『世界 夢の映画旅行』(2020)
- ・『くろが かわい! 竹久夢二からキティちゃんまで』青柳絵梨子 (2014) ・『まるごとしまえなか』山本光一 (2022)
- ・『ときめきの日本酒』福澤明 (2017) ・『てづくり推しぬいBOOK』平栗あずさ (2022)
- ・『紫竹おばあちゃんのときめき花暮らし』紫竹昭葉 (2016) ・『本物そっくり! ミニチュアフードの世界』(2018)
- ・『歌舞伎はじめて案内手帖』君野倫子・松本幸四郎 (2019) ・『エモい古語辞典』堀越英美 (2022)
- ・『空に咲く恋』福田代 (2017) ・『夏休みの空欄探し』似鳥鶏 (2022) ・『建築のときめき』土井棟治朗 (2019)
- ・『アルトウルと行く! 不思議の国・ジャポン』アルトウル (2021) ・『シンダとわたし』黒柳徹子と仲間たち (2022)
- ・『ワイヤークラフトでつくる大人かわいいアクセサリー』栗原身知子 (2018) ・『ときめく縄文図鑑』譽田亜紀子 (2016)
- ・『おみやげに選ぼう! ときめくローカルパッケージデザイン』バイインターナショナル (2023)

＝今月の現存 12 天守＝

高知城 (高知県高知市) ●重要文化財

関ヶ原の戦いの功績により、慶長6年(1601)に徳川家康から土佐一國を拝領し、山内一豊によって築城が開始された。享保12年(1727)の大火で焼失するが、寛延2年(1749)に再建された。天守が現存する12の城で、本丸の建造物が全て残る唯一の城である。

別名 鷹城

令和6年4月1日発行

鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料館

〒997-0036

鶴岡市家中新町 14-7

(図)TEL:25-2525 (郷)TEL:25-5014

FAX:25-2526

本を探してみよう～検索結果の見かた～

検索結果一覧

No	タイトル 著者	著者 出版者	出版年 資料種別
16	家政婦makoの魔法の時短テク で簡単すぎるハレの日ははん 9・4レラビ	mako / 著 東京：エムディエヌコーポ レーション	2021.12 一般図書
17	今さら聞けない時間の超基本 時短・効率化の前に	二間瀬 敏史 / 監修 東京：朝日新聞出版	2021.12 一般図書
18	PowerPoint最強時短仕 事術 もう迷わない！ひと目で伝わる資	井上 香緒里 / 著 東京：技術評論社	2021.11 一般図書
19	世界一美味しい「プロの手抜き和 食」安部ごはんベスト102レシ ビ	安部 司 / 著 東京：東洋経済新報社	2021.09 一般図書
20	まいにちの漬け物 四季を感じる保存食	ませき じゅんこ / 著 東京：池田書店	2021.08 一般図書

※本館で検索した場合の画面です

※本館で検索した場合の画面です

No	種別	状態	館	場所（背ラベル）	予約数：0 貸出数：1 貸出可能数：2
1	一般図	貸出できます	鶴岡図書館	開架一階 596マ	
2	一般図	貸出できます（他館）	羽黒分館	羽黒分館 596マ	
3	一般図	貸出中です	移動図書館	移動図書館 596マ	

キーワード”時短”で本を探してみます。

1. 入力画面に”時短”を入れて検索開始 → 検索結果一覧画面（Aの画面）で読みたい本（No.20の『まいにちの漬け物』）のタイトルをクリック → 本の詳細情報画面（Bの画面）

2. 確認するのは

①「状態」

貸出できるのか
貸出中なのか

②「館」

どの図書館にあるのか
「鶴岡図書館」の場合

③「場所（背ラベル）」

場所と本の分類番号を確認

画面の例では、「貸出できる本が鶴岡図書館（本館）の開架一階にある」「本の背表紙の番号（背ラベル＝分類番号）が”596マ”」であることがわかりました。この背ラベル番号を頼りに、パソコン

一般開架室

請求番号	書架番号
913.5	7
901	
001-079	501-519
596	51
596-599	401-440
489	440
489-499	301-302
913.6(F)	1
913.6	1
913.6	2
913.6	2
913.6	

の傍にある書架案内図で本のある棚を見つけてください。この例では、棚8にある事がわかります。

ちなみに、③「場所（背ラベル）」の分類番号（この例の場合は“596マ”）の位置に、アルファベットが付いている場合があります。これは、当館独自の分類・配架場所を示していますので、本棚を探すときの参考になさってください。

一般書の場合「L」は郷土資料で棚16、「D」は大活字本で棚7向かいの壁際の棚、「YA」は中高生にも読んで欲しい本で棚19にあります。児童書の場合

合「K」は紙芝居、「E」は絵本で、子ども室の窓際の棚にタイトルの五十音順に並んでいます。絵本に関しては他に小文字のアルファベットが付いているものもあり、「ee」は今も読み継がれている本で背表紙に赤シール、「g」読み聞かせにすすめて背表紙に緑シール、「ba」は0～2歳のお子さんにおすすめでくまちゃんシール、「ba2」はもう少し大きいお子さん向けでくまちゃんと黄色のシールが付いています。

嘉永年間の竹内主馬

今回も竹内主馬という人物についてのお話である。

前は天保14年(1843)に起こした「雲雀殺生一件」という事件により、竹内家の嫡子という立場を取り上げられたものの、弘化4年(1847)に弟・権之進が死去したことで、再び竹内家の跡継ぎになったことまで記した。しかしながら、名門竹内家を継いだものの、その後の主馬の宮仕えは決して平坦なものではなかった。以下、嘉永年間の動向を見ていきたい。

さて、主馬が自ら記した「自分覚書」によれば、権之進が死去して1100石を相続した後、最初は番頭に任じられ、嘉永2年(1849)正月に組頭を仰せ付けられる。しかしながら、嘉永4年(1851)5月に「不調法之儀」(「編年私記」)により、組頭を御免になる。これは酒田の本間外衛(光暉)の孫である健吉(光貞)が、前年8月に嫡孫承祖(孫が祖父の家督を継ぐこと)により本間家宗家を継いだものの、10月に「以君侯之旨賜」(『酒田市史史料篇五』34頁)により、別家を立てて100石を与えられたことに端を発している。これが原因で翌年5月、主馬は同役の組頭朝岡助九郎・末松吉郎右衛門と共に、御役御免の上、30日の差し控えとなる。では、何故、御役御免になったのだろうか。「秋官志」によれば、「本間健吉儀、別家被仰付候儀ニ付、以書取申立候次第不容易事ニ被思召候」とあり、また別の箇所には「元来外衛家筋ハ御取立之廉より只今とも外衛共別段ニテ殊ニ健吉亡父内実子細モ有之」と記されている。これを見る限り、両殿様方(忠器・忠発)への説明が不十分であり、この措置が二人の意向に沿わなかったものと思われるが、何故、組頭が処罰されるのかは明らかではない。実は松山藩でも嘉永3年(1850)7月に本間外衛の四男多門を100石にて召し抱え、御元締上席に任じている(「編年私記」)。本間家に対しては、両藩共に抱え込みに必死な様子が見て取れるが、それでも忠器・忠発の意向が最優先されるわけである。ただし、この一件で主馬が御役御免となったことは、特段、彼に非があったわけではないと思われ、いわば厄難だったと察せられる。

こうして無役になった主馬だったが、嘉永5年(1852)4月に堀治平・竹内弥次右衛門・同弥門・同大作と草履取ら御供7人を引き連れて、鳥海山参詣への旅に出掛けている。この時、各村の有力者の家に宿泊し(8泊9日)、贅を尽くした饗応を受けた様子(計25回)が「川北一見日記」に記されている。以下、どのようにもてなしを受けたか、4月9日分の食事の様子を紹介する。

◆新堀村 彦右衛門宅にて

朝(平)みそ漬 長いも(皿)あら(汁)うと・わかめ

※その後船に乗り、酒田へ向かう。船中、酒肴としてかまぼこ・小串・卵子・蟹が出る。もちろん酒も。

◆酒田 本間外衛邸にて

昼(飯)ごま入りたれ・味噌汁(平)鳥鴨・孟宗・きのこ(皿)小鯛(茶菓子)もなか

(吸物)①鶴(ミソツケ)②白魚③鶴④鯛ウシヲ(猪口)豆腐・卵子シタジ

(酒肴三品)鯛(浜焼とアンかけ)刺身(マガレイ)(鉢)ツミ・大根・卵焼・切身ヤキ

◆中野村 市左衛門にて

夜(吸物)甘鯛・ニラフサ・茗荷(平)鯛(皿)小鯛(汁)ツミ入・フキ・茗荷(香物)・ならつけ

(酒肴七品)鯛浜焼・蟹・鰯アンカケ・竹子・さし身・ぼら子魚身三杯つけ(鉢)ツミ・卵焼・

カマホコ・魚切身

言うまでもないが、これは公務ではなく、私事の旅行である。自分が組頭を罷免された要因となった本間外衛宅にも訪問しており、本間家でも鶴の汁物を饗するなど、最大限にもてなしているのは興味深い。藩では文化9年(1812)に村々に通達した「郷方風俗衣服御締方ケ条被仰渡書」の中で、「大小之御役人廻郷之節、御定之賄代ニテ間ニ合候様、所有合之野菜を以一汁一菜無酒ニテ賄可申候」と指示しているなど、たびたび郷方には儉約を呼びかけているが、やはり名門竹内家に対しては、一汁一菜のもてなしでは体面が保てなかったようだ。一方、無役中にこのような接待を受けていたことが多聞に漏れたら、さらに立場が危くなるのではないか、という感覚も主馬にはなかったのだろう。ここに竹内主馬という人物の面白さが見て取れるわけである。

ところで、主馬は同年10月に組頭に復帰している。次回は、いよいよ主馬の江戸出府を紹介したい。

(今野 章)



4月の新着図書



リクエスト・予約開始は 4月12日(金) です

◎小説・エッセイ

- 殺める女神の島(秋吉理香子)
- カラフル(阿部暁子)
- 正しき地図の裏側より(逢崎 遊)
- ゼロ打ち(相場英雄)
- 我撈もん(神尾水無子)
- 方舟を燃やす(角田光代)
- 兎は薄氷に駆ける(貴志祐介)
- 守護者の傷(堂場瞬一)
- 君を守ろうとする猫の話
(夏川草介)
- 刑事王子(似鳥 鶏)
- 香子 3(常木蓬生)
- その音は泡の音(平沢 逸)
- コレクターズ・ハイ(村雲菜月)
- あなたの迷宮のなかへ
(マリ＝フィリップ・ジョンシュレー)
- うまいダッツ(坂木 司)
- 幾世の鈴(高田 郁)
- 神秘のセラピスト(知念実希人)
- ヒポクラテスの悲嘆(中山七里)
- フェスタ(馳 星周)
- さよなら凱旋門(蜂須賀敬明)
- 人生に期待するな(北野 武)
- 猫沢家の一族(猫沢エミ)
- 山の上の家事学校(近藤史恵)
- ハケ岳南麓から(上野千鶴子)
- ガラスの帽子(ナヴァ・セメル)
- レイアウトは期日までに
(碧野 圭)
- 虎と兎(吉川永青)
- しんがりで寝ています
(三浦しをん)
- 碧空の音(あさのあつこ)
- アルプス席の母(早見和真)
- サロメの断頭台(タ木春央)

◎実用書

- 道長ものがたり(山本淳子)
- やまがた景観物語100
- るるぶ日本遺産
- 同性婚と司法(千葉勝美)
- 2050年の世界(ヘイミシュ・マクレイ)
- 原発事故、ひとりひとりの記憶
(吉田千亜)
- ウマは走るヒトはコケる
(本川達雄)
- 文系オトナですが、今から数学を
楽しめますか？(math channel)
- 大人の発達障害働き方のコツが
わかる本(太田晴久)
- 休養学(片野秀樹)
- 折れない心を育てる自衛隊式
メンタルトレーニング(渡部悦和)
- なぜ日本は原発を止められない
のか？(青木美希)
- ジョイント使いで手足が動く
あみぐるみ(いちかわみゆき)
- JA全農が炊いた！「日本一うまい
お米の食べ方」大全
(JA全農米穀部)
- 農家が教える庭先果樹のコツと
裏ワザ(農文協)
- 大災害とラジオ(大牟田智佐子)
- 物流センターのしくみ
(船井総研ロジ株式会社)
- 学芸員しか知らない美術館が楽し
くなる話(ちいさな美術館の学芸員)
- エミール・ガレ(山根郁信)
- お茶でかんたん飲む薬膳
(植木もも子)
- プア・ジャパン(野口悠紀雄)

◎児童書

- 教訓を生かそう！
日本の自然災害史 4(山賀 進)
- 根っこのふか〜い世界(中野明正)
- 作物をまもるひみつ
(おがたたかはる)
- 世界一クラブ 1〜18(大空なつき)
- 日本の神々の物語(小沢章友)
- モジモジばあは、
本のおいしゅさん(仁科幸子)
- さよならミイラ男(福田隆浩)
- さんごいろの雲(やえがしなおこ)
- ぼくのねこポー(岩瀬成子)
- 嘘吹きアンドロイド(久米絵美里)
- どろぼう猫とイガイガのあれ
(小手鞠るい)
- ほんとにともだち？(如月かずさ)
- ミリとふしぎなクスクスさん
(戸森しるこ)
- 妖花魔草物語(廣嶋玲子)

◎絵本

- がっこうへくまをつれて
いかないで(マーク・スペアリング)
- わたしを描く(曹 文軒)
- おやつにしましょう
(ハンス・テン・ドウルンカート)
- おとなりのだれかさん
(カーシャ・デニセビッチ)
- どーん、じゃんけんぽん！
(ひがしちから)
- キッチンカーです(オームラトモコ)
- そそそそ(たなかひかる)
- このかべどうする？(二歩)
- ふたごパンダのおくりもの
(西島三重子)
- ぽんちんぱん(柿木原政広)
- あたしは本をよまない(コウタリリン)
- のりたいな(みやまつともみ)
- ブービーとはじめてのプレゼント
(高島じゅん子)

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

新着図書は上記以外にもありますので、お気軽
にお声がけください。

新刊は、ホームページでもご覧いただけます
<http://lib.city.tsuruoka.yamagata.jp/>